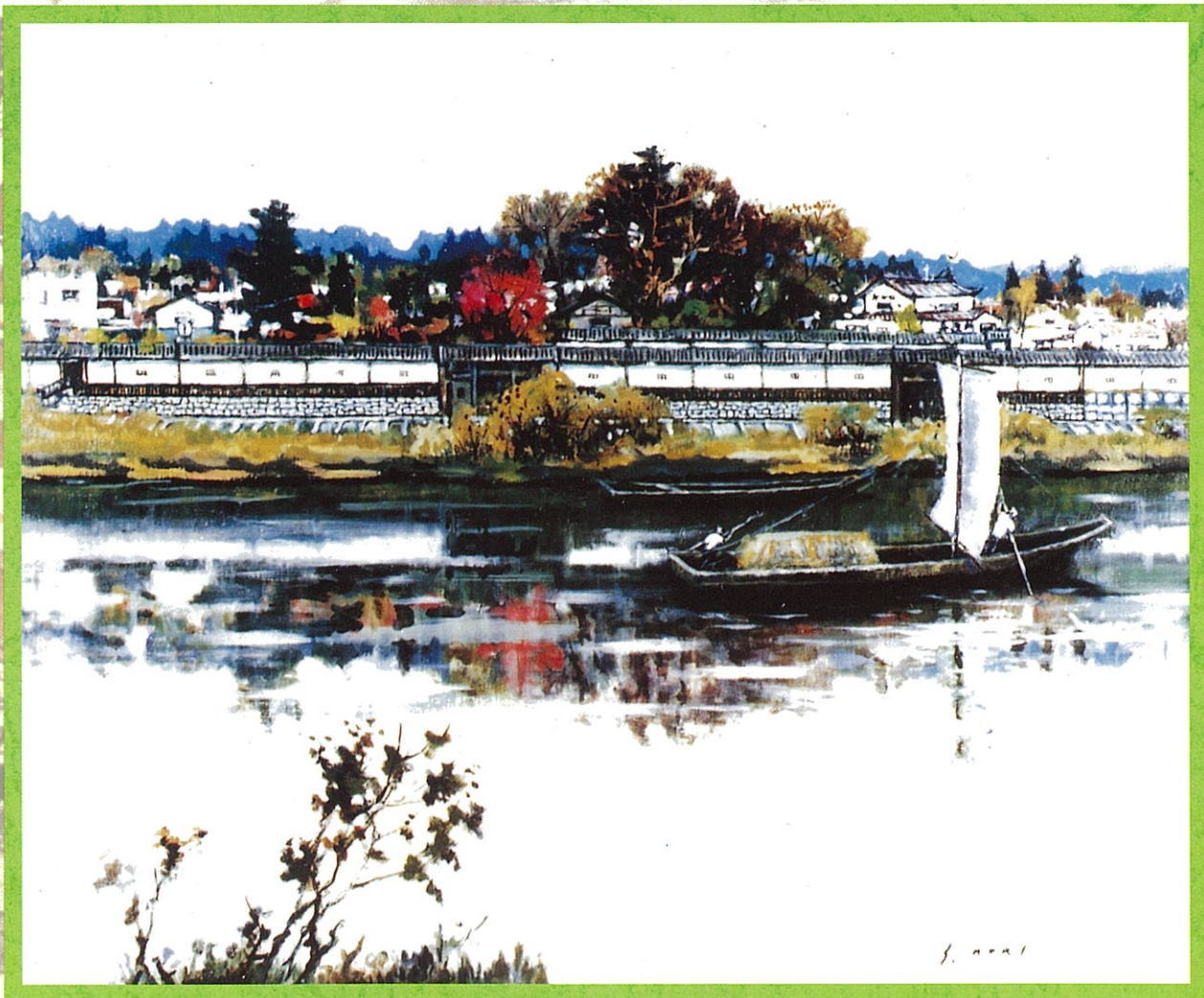


# 大石田特殊堤修景事業

[ 河川環境整備事業 ]



塀蔵の町・大石田 示現会会員 森 俊悦

建設省 東北地方建設局  
新庄工事事務所



# 河川環境整備事業とは、

川にたいするいろいろ

大石田は、最上川舟運の中枢として明治時代まで隆盛をきわめてきました。その面影は、今も街並みの中にもある蔵造り築堤の必要に迫られ、昭和30年代より約20年間にわたり特殊堤防工事が行われ、洪水から町を守るために大きく貢献しない状態となっています。そこで、最上川を介して栄えた町と川との繋がりを再生するため、特殊堤の修景工事を進め、完結し頃の様子を映す落ち着いた町並みが再現されます。



大石田の舟運が栄えた頃の河岸舟着場。寛政4年（1792）に大石田川船役所を設けて税を取り立てると共に、幕府の直轄地にした当時の跡地。

## 洪水のつめあと

自然の怒りが洪水となり、大石田町に多大な被害をもたらし、人と川との戦いも幾たびか繰り返されてきました。



大正2年8月27日 未曾有の洪水に見舞われた大石田の中心地。



昭和42年8月29日 最上川の水位の急上昇により床上・床下浸水、田畑の冠水続出の大石田町豊田地区。被害者は舟で必死の避難。



昭和44年8月8日 最上川の面濁流の活動が凍

あなたの心と子供に未



な希望を実現し、  
より親しみやすい川の環境をつくっていくための事業です。

店舗などに色濃く残されています。しかし、たびかさなる最上川の洪水で  
きました。町並みと川は堤防によりきり離され、川とのふれあいができ  
れば白壁の堀蔵風に生まれ変わり昭和30年代まで残っていた舟運華や



運文化の街づくり

町では、松尾芭蕉、斎藤茂吉、正岡子規など文人墨客等の歴史的、文化的資  
用し最上川を含めた面的整備を行う「最上川と詩歌の道」整備計画を策定  
ヒネットワーク特殊堤散策路、川船役所跡復元、最上川歴史資料館、造船所  
備により舟運の歴史、文化を生かした街づくりを行っています。

大石田特殊堤（右岸）

再三にわたる洪水の防御と土地  
との関係を検討して造られました。

広げら

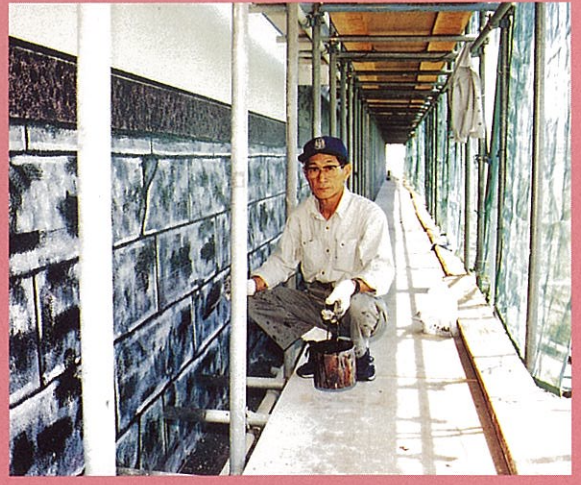


監により大石田町市街地は一  
まれました。水防隊員の救助  
の綱。



堤防は土堤が原則ですが、土地の状況その他特別の事情により  
やむを得ないと認められる場合に全部、又は主要な部分をコン  
クリート構造としたものを特殊堤といいます。

『住みよい文化都市大石田町づくり』の  
積極的な推進者の一人。  
特殊堤の堀蔵制作に取り組んでおられます。  
また、開放講座の講師として  
指導いただいています。



この修景工事によって舟運の町「大石田町」  
が再現され、新しい町づくりの原動力となる  
ことを期待しています。  
示現会会員 森 俊悦

森先生のプロフィール

- ◆示現会会員
- ◆県美展委嘱 賞2回受賞
- ◆地元、白土会・新庄美協会員
- ◆元新庄工業高等学校教諭

来をつたえる新庄工事



# 大石田ふるさとマップ



春の訪れを告げる  
水芭蕉の花



夏の陽差しをうけて  
水とたわむれる  
カヌーイスト



秋の実りを待つ  
白いそばの花



「聴禽書屋」  
茂吉が一人住まいした  
素封家二藤部家の元離れ



「手打そば」  
観光客にも人気、  
自慢の手打ちそば



「大石田の花火」  
真夏の一夜を彩る会  
大花火大会

新庄工事事務所

山形県新庄市小田島町5-55

〒996 ☎0233-22-0251

大石田出張所

山形県北村山郡大石田町

大字今宿字鷺の原466-2

〒999-41 ☎0237-35-2024